

# **間接工事費等諸経費動向調査**

**Q & A**

**元請者用**

# 目次【元請者】

全般に関わる質問	2
『1_一般事項』 シート	8
『2_工期』 シート	11
『3_施工分散』 シート	14
『4_社員等従業員給料等』 シート	15
『5_現場支援』 シート	17
『6_法定福利費』 シート	18
『7_労務管理費』 シート	24
『8-1_機器材運搬費』 シート	25
『8-2_建設機械 I』 シート	26
『8-3_建設機械 II』 シート	28
『9_工事費』 シート	29
『10_下請入力』 シート	42
『12_社員等従業員給料等_下請』 シート	43
『16-1_品質管理』 シート	44

# 全般に関する質問

**Q.**諸経費等動向調査の目的は。

**A.**現行の積算基準における問題点などの有無を確認し、積算基準の適正化を図り、今後発注される工事の積算額を適正に算定するために行っています。

**Q.**シート内の金額は税抜き税込みどちらか。

**A.**全て税抜きで計上して下さい。

**Q.**操作が正しいのに入力値が反映されない（各シート共通）。

**A.**計算タブの計算方法が「手動」になっていないか確認して下さい。「手動」になっている場合は、「自動」に設定し直し、「再計算実行」を行うと計算されます。

**Q.**画面が真っ白で編集しようとしてもセルがロックされている（各シート共通）。

**A.**スクロールバーが大きく右や下へズレていないか確認して下さい。

# 全般に関する質問

**Q.**保存ができない（読み取り専用と表示されている）。

**A.**作業用のエクセルデータを「名前をつけて保存」で各自のPCのデスクトップ等に保存して作業して下さい。

**Q.**2ヶ年工事だが調査票は一つでいいのか。

**A.**工事単位での調査になりますので、一つの調査票に記入して下さい。

# 全般に関する質問

**Q.** 整理番号が分からぬ。

**A.** 不明の場合は、発注者の方に確認をお願い致します。  
それでも不明な場合は「99999」と入力して下さい。

**Q.** チェックリストの記入方法について。

**A.** チェックリストの「確認」シートの元請欄の該当する箇所で○を選択してください（該当しない箇所は空欄のままで構いません）。

**Q.** JVの場合の調査票の記入方法は。

**A.** JV自体を元請企業（1つの会社として）として見て記載します。ただし一部（一般事項本支店算出方法、法定福利費）はスポンサー企業の情報だけを記載する箇所があります。

**Q.** ○○年度とあるのでその年度だけで良いか。

**A.** 諸経費動向調査は、竣工年度で対象工事を選定しますが、工事契約金額に対する記入になるため、国債工事の場合でも工事期間全てについて記入する必要があります（年度繰越工事についても同様）。

# 全般に関する質問

**Q.**下請業者の調査対象はどこまでか。

**A1.**原則は施工体制台帳に記載されている業者が対象となります（データの回収もします）。

**A2.**1日だけの測量（基準杭調査）や、コンクリート及びその他試験（溶接、鉄筋の圧接等の探傷試験類）はそれぞれ元請の準備費、技術管理費に含めても問題ありません。

**A3.**施工体制台帳と調査票の下請者数に差異が生じる（少額の為按分、拒否による回収不能等）場合、発注担当者へその旨を報告して下さい（差異があったことを記録する為）。

**Q.**下請者数が多い場合は。

**A.**全下請会社が対象になります。ファイル名は変更しても問題ありません。（下請【会社名】.xlsx等）

**Q.**入力のために下請の調査票を印刷したが端が切れてしまう。

**A.**表示上で切れていても問題ありません。印刷したものを見て入力したい場合はバラバラに印刷して印刷したもの組み合わせる（ページ指定等）又は選択部分のみ印刷機能を利用して下さい。

# 全般に関わる質問

**Q.**下請会社に対して2つ以上の仕事を任せていたので、施工体制台帳上だと2つにわけて記載してしまったが調査票も2つ書かなくてはいけないのか。

**A.**一次下請として、2つ以上に分けて契約している場合（参考図-I）は、一つの調査票に2つ以上の仕事を合算して計上しても構いません。一次下請と二次下請（参考図-II）で契約している場合は、それぞれで調査票を作成して下さい。

参考図-I



※この場合、A建設が作成するデータは1つ

参考図-II



※この場合、A建設が作成するデータは2つ

# 全般に関する質問

**Q.**発注者より『要確認』内容について、再確認をお願いされた。

**A.**計上漏れや誤りがないか確認して下さい。**誤りがある場合修正してください。**記入内容に疑義がある場合、後日、確認させていただく場合があります。

**Q.**転記の仕方がわからない。

**A.**下請シートの赤枠で囲われた総合計欄を元請シートに転記します。元請ファイル内に下請情報転記する箇所は○○○○\_下請と書かれたシートです。

# 『1\_一般事項』シート

Q.工事名、概要等が枠から出てしまう。

A.そのまま入力しても大丈夫です（エクセルの表示上だけで入力内容には問題ありません）。

Q.名前は誰の名前を書くのか。

A.調査票を記入する方になります。

Q.⑪支給材料は何を書くのか。

A.発注者から支給された材料です。無い場合は入力不要です。

一般事項についての調査票	
整理番号	* 整理番号を入力して下さい。
I 発注者登記欄	
メールアドレス	*
氏名	*
役職名	*
取扱先会社名	*
TEL	*
FAX	*
(例)1234-1111-2222	
(例)1234-1111-3333	
II 一般事項	
① 工事名	*
② 所管名(1)	1:国土交通省(建設)
所管名(2)	*
③ 施行所名	*
④ 工事場所	都道府県名:*
	住所:*
アフタナ	*
請負業者名	*
資本金額	*
最終工事料金額(消費税込)	(単位:千円) *最終請負金額を入力してください。
内消費税額	(単位:千円)
内消費税額当額	(単位:千円)
⑤ 前払金	%
⑥ 施工工期(最終) (自) 和曆	年
	月
	日
⑦ 施工工期(最終) (至) 和曆	年
	月
	日
III 工事概要	
支給材料名・数量 :	*
支給料金 :	*
支給料金(税込) :	*
支給料金(税込) 買付日数 :	*
主な船油・機械及び機器	*
認可保証費	(単位:千円)…消費税別
IV 下請負者数	
一次下請	○社
二次下請	○社
三次下請	○社
その他	○社

# 『1\_一般事項』シート

(注1)  
Q. 契約保証費に入力する金額はなにか。

A1. 契約後保証会社等に支払った履行保証の額を入力します（入札保証は除く）。

A2. 変更があり、当初から保証料が増額になった場合はそれも含めます。

一般事項についての調査票		
4	監理番号	
5	I 発注者側記入者	
6	メールアドレス	*
7	氏名	*
8	役職名	*
9	勤務先会社名	*
10	TEL	*
11	FAX	*
12	(例1234-1111-2222)	
13	(例1234-1111-3333)	
14	II 一般事項	
15	① 工事名	*
16	② 所管名(1)	1:国土交通省(建設)
17	③ 所管名(2)	*
18	④ 事務所名	*
19	④ 工事場所	都道府県名:*
20	住所:	*
21	フリガナ	*
22	⑤ 請負業者名	*
23	⑥ 週本金額	*
24	⑦ 最終工事請負金額(消費税込)	*
25	⑧ 内消費税相当額	*
26	⑨ 前払金	*
27	⑩ 契約工期(最終) (自) 和暦	*
28	年	*
29	月	*
30	日	*
31	(至) 和暦	*
32	年	*
33	月	*
34	日	*
35	⑪ 工事概要	*
36	支給材料名・数量 :	*
37	貸与船舶・機械名 :	*
38	貸与日数 :	*
39	⑫ 主要船舶・機械及び設備	*
40	⑬ 契約保証費	*
41	(単位千円)…消費税別	
42	III 下請負者数	
43	一次下請	0社
44	二次下請	0社
45	三次下請	0社
46	その他	0社

(注1) 契約保証とは  
公共工事における契約保証とは、請負契約の締結時に、請負者（元請会社）より発注者に納付される契約保証金の代わりとなる金銭的保証の1つ。請負者の責任により請負契約が解除された場合に、債務不履行により生じる損害金相当額を、保証会社が請負者に代わって発注者に弁済する保証を言います。

# 『1\_一般事項』シート

Q.本支店経費算定方法とは。

A1.本支店経費については  
各社の経理担当者に確認の上で、記入して下さい。

A2.算定方法が不明の場合は「その他の方法」を選択し、一行下の記載欄に「不明」と記載して下さい。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
27	⑨ 前払金	※					%				
28	⑩ 契約工期(最終)	(自)	和暦	※			年				
29				※			月				
30				※			日				
31				(至)	和暦	※	年				
32					※		月				
33					※		日				
34											
35	⑪ 工事概要	※									
36	支給材料名・数量 :	※									
37	賃与船舶・機械名 :	※									
38	賃与日数 :	※									
39	⑫ 主要船舶・機械及び設備	※									
40	⑬ 契約保証費	※					(単位 千円)…消費税別				
41											
42	III 下請負者数										
43	一次下請						0社				
44	二次下請						0社				
45	三次下請						0社				
46	その他						0社				
47											
48	IV 本支店経費算定方法										
49	経費算定方法	※									
50	その他の方法記入欄 (	※					)				
51	前払金の有無によるコード	※									
52	当初中本支店経費割当金	※					(単位 千円)				
53	本支店経費率	※					%				
54	(本支店経費率 = 当初中本支店経費 / ⑪工事請負金額 × 100)										
55											
56	V ICT活用工事										
57	ICT活用工事	※									
58											
59	VI 週休2日交替制モデル工事の試行										
60	週休2日交替制モデル工事の試行工事	※									
61											
62	黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所										
63	緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)										
64	その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。										
65	パスワードが要求される場合の対処方法:										
66	入力箇所が暗記しているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。										
67											
68											
69											
70											

# 『2\_工期』シート

Q.工事一時中止があった場合の入力は。

A.中止については「a.全面中止日数」と「b.部分中止日数」の項目があるため、該当箇所に入力して下さい。

**作業不能日数に含めないで下さい。**

工事名		
工期についての調査票		
① 準備期間日数	※	日
② 実作業着手日	和暦	※ 年 ※ 月 ※ 日
③ 実作業完了日	和暦	※ 年 ※ 月 ※ 日
④ 作業日数		0日
⑤ 作業不能日数	※	日
⑥ 徒歩往け日数	※	日
⑦ 作業不能の要因		
a. 認定するものを選択して下さい。 下記より理由を選択リストで入力 (複数回答可) 1. 降雨 2. 隆音 3. 風 4. 波浪 5. その他		
b. その他の内容を具体的にお書き下さい。	:	0日
⑧ 休日数		0日
⑨ 休日の内訳		
a. 日曜休日の日数 (自動計算による入力する際の上段例=)	日	※ 日
b. 土曜休日の日数 (自動計算による入力する際の上段例=)	日	※ 日
c. 祝日休日の日数		日
(この内日曜休・土曜休の日数)		日
d. 年末年始の休日数		日
(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)		日
e. コールドウイークの休日数		日
(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)		日
f. 真休みの休日数		日
(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)		日
g. その他の休日数		日
(具体的な内容)		
(この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)		日
⑩ 現場の原則的休日		
a. 日曜 (いすれかを選択)	※	
b. 土曜 (いすれかを選択)	※	
c. 平日 (いすれかを選択)	※	
d. その他 (具体的に記入)	:	
⑪ この工事の工期について(いすれかを選択)	※	
⑫ 当該工事における作業時間帯の概略割合		
a. 昼間工事(午前5時～午後10時)	※	割
b. 夜間工事(午後10時～午前5時)	※	割
c. 昼夜間工事(24時間)	※	割
d. 合計(合計は100割としてください)		0割
⑬ 当該工事における工事中止の日数		
a. 全面中止日数	※	日
b. 部分中止日数	※	日
*日数入力箇所に該当がない場合は0を入力してください。		
黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所		
< >   開始画面   1_一般事項   2_工期   3_施工分散   4_社員等従業員給料等   5_現場支援		

# 『2\_工期』シート

Q.休日の内訳の記載方法は。

A1.工事期間の休工日をカレンダーよりカウントして下さい。

A2.上記に工事一時中止がある場合、その期間の土日祝祭日、季節休みは含みません。

工事名		
工期についての調査票		
① 準備期間日数	※	日
② 実作業着手日	和暦	年 月 日
③ 実作業完了日	和暦	年 月 日
④ 作業日数		0日
⑤ 作業不能日数	※	日
⑥ 倍片付け日数	※	日
⑦ 作業不能の要因		
a. 該当するものを選択して下さい。 下記より理由を選択しリストで入力 (複数回答可) 1. 降雨 2. 降雪 3. 風 4. 波浪 5. その他		
b. その他の内容を具体的にお書き下さい。	:	
⑧ 休日数		0日
⑨ 休日の内訳		
a. 日曜休日の日数 (自動計算による入力する際の上段枠=)	(B)	※ 日
b. 土曜休日の日数 (自動計算による入力する際の上段枠=)	(B)	※ 日
c. 祝日休日の日数 (この内日曜休・土曜休の日数)		※ 日
d. 年末年始の休日数 (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)		※ 日
e. コールテック休日の休日数 (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)		※ 日
f. 真休みの休日数 (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)		※ 日
g. その他の休日数 (具体的な内容 (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数))		※ 日
⑩ 施工の休止理由		
a. 日曜 (いざれかを選択)	※	
b. 土曜 (いざれかを選択)	※	
c. 平日 (いざれかを選択)	※	
d. その他 (具体的に記入)	:	
⑪ この工事の工期について(いざれかを選択)	※	
⑫ 当該工事における作業時間帯の割合割合		
a. 昼間工事(午前5時～午後10時)	※	割
b. 夜間工事(午後10時～午前5時)	※	割
c. 昼夜間工事(24時間)	※	割
d. 合計(合計は100割として下さい)		0割
⑬ 当該工事における工事中止の日数		
a. 全命中止日数	※	日
b. 部分中止日数	※	日
*日数入力箇所に該当がない場合は0を入力してください。		
黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所		

# 『2\_工期』シート

Q. 現場の原則的休日で、エラーが出る。

A. 休日の内訳とあっていない場合エラーが発生します。自動計算の値より、大きいとエラーが発生するため、入力値を確認して下さい。

工事名			
工期についての調査票			
① 準備期間日数	*		
② 実作業着手日	和暦	*	年
		*	月
		*	日
③ 実作業完了日	和暦	*	年
		*	月
		*	日
④ 作業日数		0	日
⑤ 作業不能日数	*		日
⑥ 信件付け日数	*		日
⑦ 作業不能の要因			
a. 誰が選択するかを選択して下さい。 下記より理由を選択リストで入力 (複数回答可) 1. 降雨 2. 隆音 3. 風 4. 波浪 5. その他			
b. その他の内容を具体的にお書き下さい。	:		0
⑧ 休日数		0	日
⑨ 休日の内訳			
a. 日曜休日の日数 (自動計算による入力する際の上段例=)	日	*	日
b. 土曜休日の日数 (自動計算による入力する際の上段例=)	日	*	日
c. 祝日休日の日数 (この内日曜休・土曜休の日数)	*		日
d. 年末年始の休日数 (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)	*		日
e. ホールドワーカーの休日数 (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)	*		日
f. 真休みの休日数 (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)	*		日
g. その他の休日数 (具体的な内容)	*		日
h. (この内日曜休・土曜休・祝日休の日数)	*		日
⑩ 現場の原則的休日			
a. 日曜 (いすれかを選択)	*		
b. 土曜 (いすれかを選択)	*		
c. 平日 (いすれかを選択)	*		
d. その他 (具体的に記入)	:		)
⑪ この工事の工期について(いすれかを選択)	*		
⑫ 当該工事における作業時間帯の概略割合			
a. 昼間工事(午前5時～午後10時)	*		割
b. 夜間工事(午後10時～午前5時)	*		割
c. 昼夜間工事(24時間)	*		割
d. 合計(合計は「10」割としてください)		0	割
⑬ 当該工事における工事中止の日数			
a. 全面中止日数	*		日
b. 部分中止日数	*		日
*日数入力箇所に該当がない場合は0を入力してください。			
黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所			
◀ ▶   開始画面   1_一般事項   2_工期   3_施工分散   4_社員等従業員給料等   5_現場支援   □			

## 『3\_施工分散』シート

Q. 点在箇所の記載方法は (試行工事の場合) (注2)

**A. 設計書及び特記仕様書に記載されています。**  
**そちらを参考して下さい**

**Q.維持工事等施工範囲が広い場合は。**

A. 「施工箇所が点在する工事積算の試行工事」  
以外は「無」を選択します。  
※維持工事では施工分散を考慮した積算になっている為。

(注2)  
原則として、直径1km程度の範囲（工区）を越え、施工箇所が複数ある工事を対象としています。

設計書にこの様な記載があるはずですので、発注者へ確認願います。

# 『4\_社員等従業員給料等』シート

”(NEXCO調査票ではA-1)”

**Q.**ここには誰を対象に記載すべきか。

**A.**該当現場において管理的立場で従事した人（現場代理人、主任技術者、監理技術者、施工管理等）を記載します。作業員等は記載しない。また、現場管理と作業員を兼務している人についても対象外（9\_工事費シートの労務費に計上する）。

**Q.**月別社員等従業員数の書き方は。

**A.**一ヶ月全て入って100%として1とする。例として11日間の場合  $11 \text{ (従事日数)} \div 22 \text{ (会社の出勤日数)} = 0.5$  となります。

**Q.**平均給与とは。

**A.**一ヶ月分の給与のことと言います。

# 『4\_社員等従業員給料等』シート

" (NEXCO調査票ではA-1) "

**Q.**役員報酬は計上するのか。

**A.**計上します。ただし、基本給欄には含めず、  
役員報酬は基本給と分け、その他手当欄に計上し  
て下さい。

**Q.**賞与の計上はどのように入力するか。

**A.**年間で支払う賞与の合計を12カ月で割り、そ  
の他手当に計上します。

# 『5\_現場支援』シート

"（NEXCO調査票ではA-1'）"

**Q. 現場支援とは何か。**

**A.**本社又は支店（施工検討、詳細設計等で定めた場所）などから該当工事の支援を行った場合に記載する（現場代理人等は除く）。該当が無い場合は記入の必要はありません。

# 『6\_法定福利費』シート

”(NEXCO調査票ではA-2)”

**Q.**基本情報に記載する支払い賃金とは何か。

**A1.**この現場に従事した全ての自社の賃金の総額  
(現場管理者、作業員含む)。

**A2.**作業員がいない場合は、「4\_社員等従業員  
給料等」の合計の金額が該当する。作業員も含  
む場合は上記プラス「工事費」シートの労務費  
の金額も加算します。

**A3.**一ヶ月に満たない人がいる場合は、日当換算  
で計上します。

**A4.**賞与がある場合は、年間の賞与の合計を12  
カ月で割り加算します（場合によってはさらに日  
当換算に割り戻します）。

※法定福利費は税金が引かれる前の賃金を基に算出します

# 『6\_法定福利費』シート

”(NEXCO調査票ではA-2)“

Q. 基本情報で入力確認メッセージが出る。

A1. 千円単位での入力なので、一円単位での入力でないか確認して下さい。一円単位で入力してしまった場合は0を3つ減らす事。

A2. 延人員が少ない（対象現場に従事した人数：例えば4人）だけの記載になっていないか確認（累計の人数にしていない）。  
例：4人×20日ずつ=80人となります。

A	B	C	D	E	F
2	工事名				
3					
4 6_法定福利費 法定福利費内訳書					
5	法定福利費内訳		元請業者名		
6					
7					
8	基本情報				
9	1.支払い賃金総額(千円) (当該工事での賃金総額)			1,000	
10	2.従事者延べ人数(人) (当該工事での従事者延べ人数)			1	
11	3.一人一日当たりの賃金(千円/人日)			1,000	
12	4.入力確認 (一人一日当たりの賃金)			一人一日当たりの賃金が過大になっていると思われます。「支払い賃金総額」「従事者延べ人数」に間違いがないか確認してください。	
13	5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由	※			

# 『6\_法定福利費』シート

”（NEXCO調査票ではA-2）”

**Q.**労災保険料の記入方法が分からぬ。

**A1.**保険料率を、支払い賃金と工事請負金額のどちらに掛け合わせて算出しているのか確認して下さい。

**A2.**年間で算出支払っている場合は、該当の工事の請負金額で按分して下さい。

A 労災保険料		
1.事業主負担額(千円)	※	
2.事業の種類		
3.算出方法		
4.支払い賃金合計(千円)		
5.税抜の工事請負金額(千円) (労災保険の対象となる工事請負金額)		
6.税抜の工事請負金額(千円) (一般事項シートでの最終工事請負金額)		
7.労務比率(%)		
8.保険料率(%)		
9.事業主負担額の自動計算値(千円)		
10.入力確認 (事業主負担額)		
(支払い賃金合計)		
(工事請負金額)		
11.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由		

# 『6\_法定福利費』シート

”(NEXCO調査票ではA-2)“

Q. 労災保険料で事業の種類が当てはまらない。

A. 「その他の建設業」を選んで下さい。保険料率がシートと違う場合は理由を11.理由記載欄に入力して下さい。

13	□ 他の場合の理由	
14	A 労災保険料	
15	1.事業主負担額(千円)	※
16	2.事業の種類	
17	3.算出方法	
18	4.支払い賃金合計(千円)	
19	5.税抜の工事請負金額(千円) (労災保険の対象となる工事請負金額)	道路新設事業 舗装工事業 鉄道又は軌道新設事業 建築事業（既設建築物設備工事業を除く） 既設建築物設備工事業 機械装置の組立て又は据付けの事業（組立て又は取付け） 機械装置の組立て又は据付けの事業（その他のもの） その他の建設事業
20	6.税抜の工事請負金額(千円) (一般事項シートでの最終工事請負金額)	
21	7.労務比率(%)	
22	8.保険料率(%)	
23	9.事業主負担額の自動計算値(千円)	
	10.入力確認	

▶ 開始画面 | 1\_一般事項 | 2\_工期 | 3\_施工分散 | 4\_社員等従業員給料等 | 5\_現場支援 | 6\_法定

Q. 実際の保険料率と自動計算の率が違う。

A. 事業の種類と算出方法が合っているかを確認して下さい。違う場合は、率が違う旨を理由記載欄に入力して下さい。

# 『6\_法定福利費』シート

" (NEXCO調査票ではA-2) "

**Q.雇用保険、健康保険、厚生年金の算出方法。**

**A1.**該当者が全員ならば、基本情報に入力した支払賃金総額を基準に事業主負担額を算出します。計算式は以下の通りです。

支払賃金総額×各保険の料率（会社負担分） =  
事業主負担額（保険の額）

**A2.**対象外者がいる場合は、その分の支払賃金、対象延べ人数を差し引いた数字にて事業主負担額を算出します。

**A3.**確認メッセージが出て、理由が明確になっている場合は、その理由を各項目の理由欄に記載します。

**A4.**事業主負担額が千円以下で0になる場合は理由欄に「事業主負担額が千円以下のため」と記載して下さい。

# 『6\_法定福利費』シート

”（NEXCO調査票ではA-2）”

**Q.**個人事業主や家族経営などで雇用保険やその他の調査票の保険に加入がない場合は。

**A.**基本情報以外は0で記載します。

**Q.**建退協について。

**A.**該当工事にて購入した金額と、枚数は対象延べ人数に計上します。下請分もある場合は元請で計上します。

**Q.**船員保険について。

**A.**海上作業において必要な項目なので、確認メッセージが出ても「該当なし」と理由欄に記載して下さい（ただし、海上作業を行い、船員保険の金額がある場合は記載して下さい）。

**Q.**JVの場合の記載方法。

**A.**このシートではスポンサー企業について記載して下さい。

# 『7\_労務管理費』シート

Q.記載金額について。

A1.現場作業員の方に対して、賃金以外でお支払いしている金額があれば該当する項目に記入して下さい。

A2.作業被服費等については、年間での場合が多いので、該当工事の年間に対する割合にて計上して下さい。

A3.その他該当する項目のみのを記載します（無ければ「0」で構いません）。

# 『8-1\_機器材運搬費』シート

”（NEXCO調査票ではA-4の1\_3）”

**Q.**敷鉄板③の該当する事例は何か。

**A.**発注者が積算計上していない敷鉄板の運搬費用で、敷鉄板①、②に該当しないもの。（クレーンのアウトリガ等の一時的に使用した敷鉄板等）。

**Q.**その他①及び②には何を記入すれば良いか。

**A1.**その他①については、**発注者が積算計上している**建設機械以外の仮設材等の運搬費用のうち、調査票に記載されてない項目について記入して下さい。

**A2.**その他②については、**発注者が積算計上していない**建設機械以外の仮設材等の運搬費用のうち、調査票に記載されてない項目について記入して下さい。（ダンプカー用泥落とし等）。

# 『8-2\_建設機械Ⅰ』シート

”（NEXCO調査票ではA-4の2\_3）”

**Q.**記載する機械は何を記載したら良いか。

**A.**項目に書いてあるもの（元請調査票、建設機械リストシート参照）。自走できる機械であっても運搬費が発生していることになりますので記載して下さい。

**Q.**自走による運搬と日々回送の違いは。

**A1.**自走とは会社（保管基地）等～現場間の運搬を自走（タイヤBH、ラフター等）で行った場合に適用します。

**A2.**日々回送とは、建設機械の置場等を施工現場内に確保出来ない等の施工箇所の制約や維持工事等で施工箇所が点在する場合により、日々建設機械を場外運搬した場合に適用します。

# 『8-2\_建設機械Ⅰ』シート

”(NEXCO調査票ではA-4の2\_3) ”

**Q.**運搬距離と回数について。

**A.**運搬距離はその機械を運搬した延べ運搬距離、運搬回数は片道を1回とカウントした、延べ運搬回数して下さい。(1往復で2回)。

**Q.**バックアップ機械とは何か(空港調査票のみ)。

**A.**制限区域内等で、もしものトラブルがあった場合に備えて代替となる機械を用意していた場合の、バックアップ機械の運搬費用を指します。

# 『8-3\_建設機械II』シート

”(NEXCO調査票ではA-4の3\_3) ”

Q. 8-2\_建設機械Iとの違いは。

A.建設機械IIは、**発注者が積算計上している建設機械の運搬費**が対象です（主に積算上20t以上の建設機械が計上されている場合）。

Q.大型クレーン（100t以上）の分解組立について。

A. トラック、トレーラー、分解組立のみ使用したクレーンについては、**『内分解組立費』**に一括計上します（全て分ける必要はありません）。

※その他の入力項目は『8-2\_建設機械I』シートと共通になります。

# 『9\_工事費』シート

**Q.**リース機械のリース代、オペレーター代はどこに計上すればいいか。

**A.**燃料費は材料費、機械代は機械器具損料等、オペレーター代は労務費に該当しますが、分解が困難な場合は機械器具損料等に纏めて計上してください。

**Q.**生コン、鉄筋は材料費に含まれるか。

**A.**含まれます。

**Q.**コンクリートポンプ車の現場内費用をどこにどう計上すればいいのか。

**A.**オペレーターは労務費に、ポンプ車は機械器具損料に、コンクリートそのものは材料費にそれぞれ計上して下さい。

**Q.**交通誘導員の労務費はどこに入れればいいのか。

**A.**直接工事費の交通誘導員 A 又は B (Aは一級または二級検定に合格した警備員。Bはそれ以外の警備委員) を言います。

## 『9\_工事費』シート

**Q. 盗難防止用のバリケードのリース料は。**

A.安全管理費に記入して下さい。

# 『9\_工事費』シート

**Q.** レッカーなどで荷揚げした場合のお金はどこに入れればいいのか。

**A.** 直接工事費の材料費に計上して下さい。

**Q.** 残土処理などでダンプトラックを使用したがこの運搬費はどこに入れればいいのか。建設機械に入れるのか。

**A.** 残土の運搬費用は「直接工事費」、ダンプトラックの現場までの移動費用は「建設機械の運搬費」に計上して下さい。

**Q.** 宿泊費用はどこに入れればいいのか。

**A.** 現場作業員であれば「宿泊費」。現場管理者であれば「社員等就業員給料等」シートの「h. 平均その他手当」に記入して下さい。

**Q.** 外注経費とは。外注経費がマイナスで表示される場合の対処方法。

**A.** 工事請負金額の中から直接工事費など実際に工事にかかった金額を引いた数が外注経費に入力されます。マイナスになっている場合は経費が請負金額の総額を超えている場合で、原因としては直接工事費の誤入力、請負金額の未入力・桁間違いなどがあります。

# 『9\_工事費』シート

**Q.**測量調査、地質調査など、調査会社のかかった費用を元請で計上するのはどこがいいのか。

**A.**発注者が調査費用を積算計上している場合は、発注者側の計上方方法に準じて下さい。

・発注者側が、費用を**業務委託料等で一式計上**している場合  
⇒『⑥別途調査等工事価格欄』に調査費用一式（経費込み）を計上

・発注者側が、調査費用を**共通仮設費（技術管理費）に積上計上**している場合  
⇒『技術管理費』に調査費用のみを計上

それ以外で行った調査等は共通仮設費の準備・測量等に計上して下さい。

**Q.**「へ 保険料」に保険料を計上したいのだが、年掛けで工事ごとに出せない。

**A.**工事期間分で保険料を按分した上、その額を計上して下さい。

# 『9\_工事費』シート

**Q.** (2) の補償費と (3) リ.の補償費の違い。

**A.** (2) は発注者が費用を見込んでいる場合、  
(3) リ.は発注者が費用を見込んでいない場合です。

**Q.** 入力セルのコメントが消えない。

**A.** 校閲タブのコメント非表示を押して下さい。

**Q.** 土木建築合算工事なのだが計上はどうすればいいか。

**A.** 発注担当者に確認確認して下さい。

## 『9\_工事費』シート

## Q.一般管理費（下請欄）にエラーが出る（現場管理費・下請列）

**A1.** 『外注費（下請欄は、外注経費の自動計算値）』と『ツ 外注経費』が一致していないためのエラー表示です。

入力途中の場合はエラー表示が出ます。入力完了時にエラーが無いことを確認して下さい。

一致させる  
必要があり  
ます。

## 「建設」の調査票イメージ

# 『9\_工事費』シート

**Q.一般管理費（下請欄）にエラーが出る（現場管理費・下請列）**

**A2.**下請欄に「空売りエラー」と出た場合は、「ツ 外注経費」と「⑦工事価格」が一致している状態です。作業の途中段階では無視して作業を進めても問題ありません。  
作業完了をして「空売りエラー」が出ている場合は、工事費用が0円を意味しています。直接工事費等の入力漏れについて、ご確認下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	O	P	Q	R
2																	
3																	
4																	
5																	
234																	
235																	
236																	
237																	
238																	
239																	
240																	
241																	
242																	
243																	
244																	
245																	
246																	
247																	
248																	
249																	
250																	
251																	
252																	
253																	
254																	
255																	
256																	
257																	
258																	
259																	
260																	
261																	
262																	
263																	
	...	2_工期	3_施工分散	4_社員等従業員給料等	5_現場支援	6_法定福利費	7_労務管理費	8-1_機器材運搬費	8-2_建設機械I	8-3_建設機械II	【参照用】建設機械II						

# 『9\_工事費』シート

**Q.**一般管理費（下請欄）にエラーが出る（現場管理費・下請列）

**A3.**一般管理費の自動計算値に小数点が出た場合は、どこかに小数点が入力されていないか確認して下さい。  
関数を使用している計算している場合、小数が含まれてしまう事例があります。

# 『9\_工事費』シート

**Q.**一般管理費（元請欄）の数値がマイナスになる。

**A1.**工事請負金額や直接工事費の金額が一円単位で計上されていないか確認して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	O	P	Q	R	S
2	工事名																	
3	工事費																	
4	注) 消費税抜きで記入してください																	
5	III 工事費内訳										金額単位: 千円							
6	費  目										元請+元請外注	元 請	元請外注	合計	1			
7																		
234			ヲ 事務用品費							0	※				0			
235			ワ 動力・用光水熱費							0	※				0			
236			カ 工事実績登録費							0	※							
237			ヨ 公共事業労務費調査							0	※				0			
238			タ その他(天候デリバティブ費用)							0	※				0			
239			レ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用							0	※				0			
240			その他							0	※				0			
241			ソ その他							0	※				0			
242			その他							0	※				0			
243			ツ 外注経費							0					0			
244			(4) 機器間接費							0		0			0		0	
245			イ 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)							0	※				0			
246			ロ 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)							0	※				0			
247			③ 外注費(下請欄は、外注経費の自動計算値)							E		10,000	外注経費の計算値=>					
248			④ 一般管理費等 自動計算値 = -10000							0	※							
249			⑤ 鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)							0	※				0			
250			⑥ 別途調査等工事価格							0	※				0			
251			⑦ 工事価格							0		0	E		0			
252			⑧ 消費税相当額(下請欄は、下請工事価格の自動計算値)							0		0	工事価格の計算値=>		0			
253			⑨ 工事請負金額							0		0						
254			⑩ 廃材処理等において、処分費以外に要した費用							0	※				0			
255			⑪ 営繕費のうち、地代に要した費用							0	※				0			
256			⑫ 準備費のうち伐開・除根・除草等に要した費用							0	※				0			
257																		
258																		
259																		
260																		
261																		
262																		
263																		
	<	…	2_工期	3_施工分散	4_社員等従業員給料等	5_現場支援	6_法定福利費	7_労務管理費	8-1_機器材運搬費	8-2_建設機械 I	8-3_建設機械 II	【参照用】建設機械リスト						
	□																	

# 『9\_工事費』シート

Q.一般管理費（元請欄）の数値がマイナスになる。

A2.マイナスになる原因として、労務費（①直接工事費（2)労務費等イ労務費）と社員等従業員給料等（②間接工事費(3)現場管理費ニ社員等従業員給料手当）の額が同じ（作業員と管理者を混同して二重計上している状態）場合があります。

A3.その他のマイナスになる原因として、工事請負金額と直接工事費が同額になっている場合もあります。

※これらを解消することでマイナス表示がなくなっていく場合があります。

但し、現場の進行上の都合で実際に一般管理費がマイナスになる場合はマイナスのまま計上して下さい。

6	費目	元請+元請外注	元請	合計	
				元請外注	合計
8	① 直接工事費	0	0	0	0
9	(1) 材料費	0	0	0	0
10	(2) 労務費等	0	0	0	0
11	イ 労務費	0	0	0	0
12	ロ 交通誘導警備員A	0	0	0	0
13	ハ 交通誘導警備員B	0	0	0	0
14	(3) 機械器具等機料	0	0	0	0
15	(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)	0	0	0	0
16	(5) 直接経費	0	0	0	0
17	イ 特許使用料	0	0	0	0
18	ロ 光熱電力使用料	0	0	0	0
19	(6) 特殊経費	0	0	0	0
20	イ 妥み費	0	0	0	0
21	ロ 上・下水道料金	0	0	0	0
22	ハ 有料道路利用料	0	0	0	0
179	その他	0	0	0	0
180	(2) 捕借費	0	0	0	0
181	(3) 現場管理費	0	0	0	0
182	イ 労務管理費	0	0	0	0
188	ロ 安全訓練等費用	0	0	0	0
189	ア 安全・衛生に要した費用	0	0	0	0
190	Б 研修訓練等に要した費用	0	0	0	0
191	С 外国人労働者の技能実習に要した費用	0	0	0	0
197	ハ 租税公課	0	0	0	0
198	ニ 社員等従業員給料手当	0	0	0	0
199	ホ 退職金	0	0	0	0
205	ヘ 保険料	0	0	0	0
206	А 火災保険	0	0	0	0
207	Б 工事保険	0	0	0	0
208	С 自動車保険	0	0	0	0
209	Д 組立保険	0	0	0	0
210	Е その他労災保険(法定外を含む)	0	0	0	0
211	Ф その他損害保険	0	0	0	0
217	ト 法定福利費	0	0	0	0
218	А 劳災保険料	0	0	0	0

# 『9\_工事費』シート

Q. 延実人員数と作業日数にエラーが出る（現場管理費・下請列）

A1. (8) と (9) の数字が一致しているか確認して下さい。

⑩ 延実人員数と作業日数						
(1) 労働者延人員	5	5	0			
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	0	0	0			
(3) 交通誘導警備員延人員	0	0	0			
(4) 交通誘導警備員日延人員	0	0	0			
(5) 技能関係等従事者延人員	0	0	0			
(6) 技術事務関係社員等従業員延人員	0	0	0			
(7) 作業日数			0			
(8) 延べ人員合計(1)+(3)+(4)+(5)+(6)	5	5	0			
(9) 従事者延べ人員(6_法定福利費又は13_法定福利費_下請の入力値)	10	E	10	0		

278

279

280

281

282

283

284

285

286

黄色塗りつぶし部分：入力必要箇所  
緑色塗りつぶし部分・黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)  
その他の部分：シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。  
パスワードが要求される場合の対処方法：  
入力箇所が間違っているためあり、指定箇所(黄色

上記(8)と(9)の延べ人員が不一致です

外注費と工事価格が不一致です

# 『9\_工事費』シート

**Q.** 延実人員数と作業日数にエラーが出る（現場管理費・下請列）

**A2. (9)** は元請欄の場合「6\_法定福利費」、下請の場合は「13\_法定福利費\_下請」の基本情報「従事者延べ人数」で記載した延人員の内訳が転記されています。人数に誤りがないか確認して下さい。

A	B	C	D	E	F	G
2	工事名					
3						
4	6_法定福利費 法定福利費内訳書					
5						
6	法定福利費内訳		元請業者名			
7						
8	基本情報					
9	1.支払い資金総額(千円) (当該工事での資金総額)	*				
10	2.従事者延べ人数(人) (当該工事での従事者延べ人数)		10			
11	3.一人一日当たりの賃金(千円/人日)					
12	4.入力確認 (一人一日当たりの賃金)					
13	5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由					
14	A 労災保険料					
	支払予定期間(月)					

『法定福利費』シート

※関数で反映される

268	⑨ 延実人員数と作業日数					
269	(1) 労働者延人員	5		5	0	
270	(2) (1)のうち通勤労働者延人員	0		0	0	
271	(3) 交通誘導警備員A延人員	0		0	0	
272	(4) 交通誘導警備員B延人員	0		0	0	
273	(5) 技能関係等従事者延人員	0		0	0	
274	(6) 技術事務関係社員等従業員延人員	0		0	0	
275	(7) 作業日数				0	
276	(8) 延べ人員合計(1)+(3)+(4)+(5)+(6)	5		5	0	
277	(9) 従事者延べ人員(6_法定福利費又は13_法定福利費_下請の入力値)	10		10	0	
278						
279						
280	黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所 緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可) その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。 パワーポイントが要求される場合の対処方法: 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色					
281						
282	上記(8)と(9)の延べ人員が不一致です					
283	外注費と工事価格が不一致です					
284						
285						
286						

# 『9\_工事費』シート

Q. 延実人員数と作業日数にエラーが出る（現場管理費・下請列）

A3. 交通誘導員を下請契約している場合で、元請に記入している場合は、「6\_法定福利費」の基本情報に支払賃金、延人員数を含めた記載をして下さい（雇用保険以下は記載不要だが、理由欄にコメントを入力）。

⑩ 延実人員数と作業日数				
(1) 労働者延人員	10	10	0	
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	0	0	0	
(3) 交通誘導警備員A延人員	5	5	0	
(4) 交通誘導警備員B延人員	0	0	0	
(5) 技能関係等従事者延人員	0	0	0	
(6) 技術事務関係社員等従業員延人員	0	0	0	
(7) 作業日数			0	
(8) 延べ人員合計(1)+(3)+(4)+(5)+(6)	15	15	0	
(9) 従事者延べ人員(6)法定福利費又は13_法定福利費_下請の入力値)	10	E	10	0

黄色塗りつぶし部分: 入力必須箇所

6\_法定福利費 7\_労務管理費 8-1\_機器材運搬費 8-2\_建設機械Ⅰ 8-3\_建設機械Ⅱ 【参照用】建設機械リスト

工事名		『法定福利費』シート	
6_法定福利費 法定福利費内訳書			
法定福利費内訳		元請業者名	
基本情報			
1.支払い賃金総額(千円) (当該工事での賃金総額)	*		
2.従事者延べ人数(人) (当該工事での従事者延べ人数)		15	
3.一人一日当たりの賃金(千円/人日)			
4.入力確認 (一人一日当たりの賃金)			
5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由	「2.従事者延べ人数(人)」に交通誘導員の人数を含めた人数を記載しているため。		

# 『10\_下請入力』シート

Q. 下請30社以上の場合。

A1. 表記上30社までなので、30社以上ある場合は、30社目に残りの情報を合算して入力して下さい。

A2. 二次下請列の場合は同じ一次下請同士でまとめてても良い。

# 『12\_社員等従業員給料等\_下請』シート

”（NEXCO調査票ではA-①）”

**Q.**下請のシート「2\_社員等従業員給料等」に記載が無いがどうすればいいか。

**A.**下請に該当がないため記載されていないため無しとなっています。元請への転記は「0」を入力して下さい。

# 『16-1\_品質管理』シート

”(NEXCO調査票では技術A)”

Q. ここに何を記載すべきか。

A. 『9\_工事費』シートの技術管理費 A品質管理費等に入力した金額の内訳を記載します。

Q. エラーが消えない。

A. A1とA2（元請）、B1とB2（下請）がそれぞれ一致しているか確認して下さい。

『9_工事費』シートの「技術管理費 A品質管理費等」に入力されている金額		元請	元請外注	
		A1	B1	
上記金額の内訳を入力してください。				
項目	金額(千円)			
① 品質管理基準に記載されている試験項目(必須・その他)に要する費用	0			
② 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用				
③ 工程管理のための資料の作成等に要する費用				
④ 完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等(道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く)に要する費用				
⑤ 建設材料の品質記録保存に要する費用				
⑥ コンクリート中の塩化物検査機器に伴う試験に要する費用				
⑦ コンクリート中の単位水槽測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる測定に要する費用				
⑧ 非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定に要する費用				
⑨ 測定器・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定に要する費用				
⑩ PC上部工、アンカーエンドの緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用				
⑪ トンネル工(NATM)の計測Aに要する費用				
⑫ 泡沫抹厚施工管理に要する費用				
⑬ 浸漬工の品質管理のための試験等に要する費用(現場溶接部の検査費用を含む)				
⑭ 施工管理で使用するOA機器の費用(情報共有システムに係る費用(登録料及び利用料)を含む)				
⑮ 品質証明に係る費用(品質証明費)				
⑯ 建設発生土体積交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用				
A-1 上記①品質管理基準に記載されている項目Ⅰ等の内訳表		A2	B2	
元請		元請外注		
工程	種別	試験区分	試験項目	金額(千円)
元請		元請外注		
工程	種別	試験区分	試験項目	金額(千円)

# 『16-1\_品質管理』シート

”(NEXCO調査票では技術A) ”

Q. 内訳表（38行目以下）のプルダウンリスト内の試験項目に該当する名前がない。

A. 「38上記以外（具体的な内容を「試験項目」に入力して下さい）」を選択し試験名を手入力して下さい。

A	B	C	D	E	F	G
19	⑦ コンクリートの単位水量測定、ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要する費用					
20	⑧ 非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びひび割れ測定に要する費用					
21	⑨ 微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定に要する費用					
22	⑩ PC上部工、アンカーワーク等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用					
23	⑪ トンネル工(NATM)の計測AIに要する費用					
24	⑫ 塗装膜厚施工管理に要する費用					
25	⑬ 溶接工の品質管理のための試験等に要する費用(現場溶接部の検査費用を含む)					
26	⑭ 施工管理で使用するOA機器の費用(情報共有システムに係る費用(登録料及び利用料)を含む)					
27	⑮ 品質証明に係る費用(品質証明費)					
28	⑯ 建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用					
32						0 A2
33						
34	A-1 上記「①品質管理基準に記載されている項目」等の内訳表					
35						
36	元請					
37	工種	種別	試験区分	試験項目	金額(千円)	
38						
39	31路上表層再生工 32排水性舗装工・透水性舗装工 33プラント再生舗装工 34工場製作工(鋼橋用鉄骨等) 35ガス切断工 36溶接工 37中層混合処理 38上記以外(具体的な内					
40						
41						
42						
43						

13\_法定福利費\_下請 14\_労務管理費\_下請 15-1\_機器材運搬費\_下請 15-2\_建設機械I\_下請